



図書便り (6月号)

令和4年(2022年)6月24日発行
文責 原田

～梅雨の長雨ですね～

梅雨に入りました。今年の梅雨入りは6月11日でした。梅雨明けが7月19日あたりと予想されていますので、約1ヶ月、雨と付き合っていかなければなりません。

さて、雨にまつわる日本語はいくつあるかご存じですか？雨足が速い、雨上がり、梅雨、通り雨、豪雨、五月雨。日本語には千を超える言葉があるといわれています。雨そのものを表す言葉は400語とも。これは他国と比べてもかなり珍しいことです。農作物への恵みの雨でもありますけど、降りすぎた雨は甚大な被害を引き起こしもあります。

さて、今回紹介する本は労働に関係した本です。社会を知り、自分の生活を豊かにするため、読んでみてはいかがでしょうか。

❀ 図書案内 ❀

『こども六法』



山崎聡一郎 (著)

伊藤ハムスター (イラスト)

刑法・刑事訴訟法・少年法・民法・民事訴訟法・日本国憲法の六法に加え、いじめ防止対策推進法を紹介。難しく堅苦しい表現の原著を、平易でわかりやすく書き直してあるとともに、可愛らしいイラストと解説で紹介。

『労働法はぼくらの味方!』



笹山尚人 (著)

アルバイトも正規社員も関係する労働法。労働法とは労働基準法、労働組合法、労働関係調整法の他、たくさんの法律の総称。本書では登場人物が不当な経験をする中で、様々なことを学び、対処していく形で進められる。是非とも読んでほしい一冊。

『日本国憲法を口語訳してみたら』



塚田薫 (著)

長峯信彦 (監修)

日本国憲法の条文はかなり読みにくいことで有名。著者はインターネットの掲示板に若者言葉で翻訳したものを掲載したところ一躍有名に。

本質を踏まえつつ、読みやすくなった日本憲法。おすすめです。

『池上彰のやさしい教養講座』



池上彰 (著)

日本経済新聞社 (編集) 困難や障害を乗り越える

のために大事なのが過去の失敗と成功。著者は日本と世界の気になるニュースを取り上げて、これだけは知っておきたい戦後史を優しい語り口で解説。